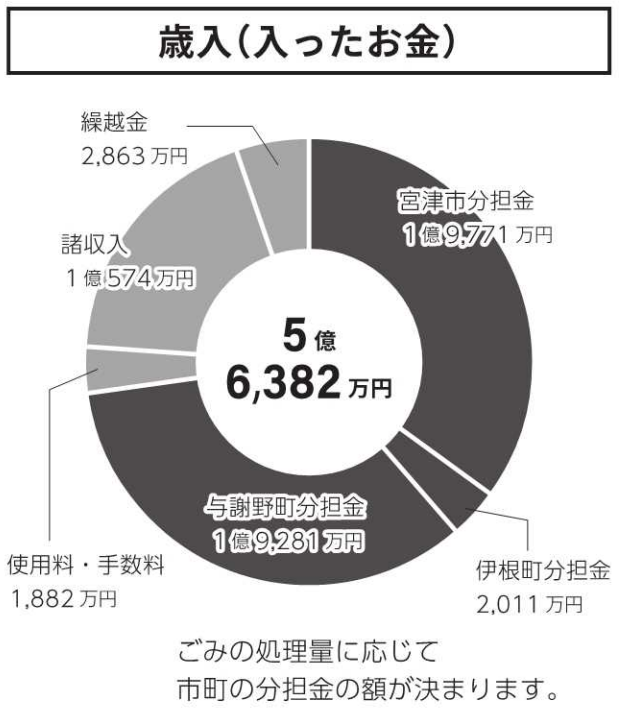
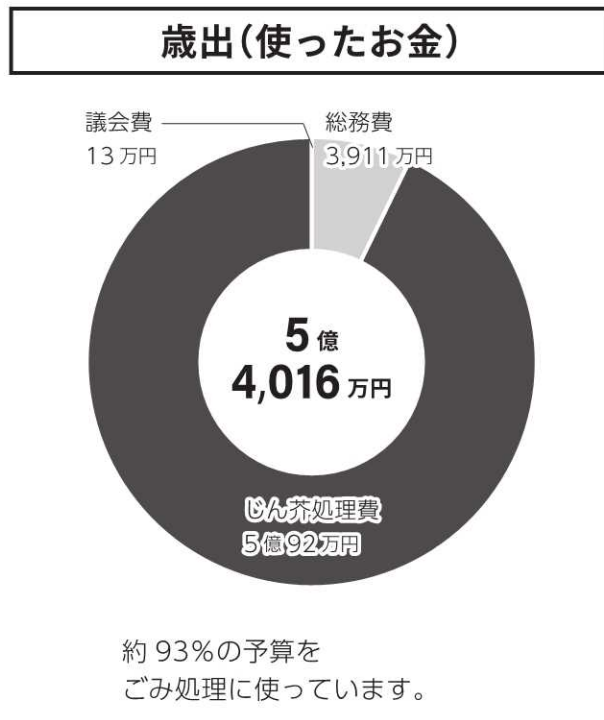


令和4年度決算を お知らせします



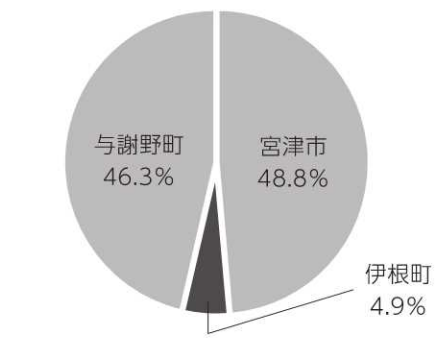
宮津与謝環境組合（管理者／城崎雅文宮津市長）は、1市2町（宮津市・伊根町・与謝野町）から排出されるごみを「宮津与謝クリーンセンター」で、できる限りの資源化と減量化を図りながらごみ処理を行っています。今後も安定したごみ処理を継続していきます。令和5年10月25日に開催された「令和5年第2回宮津与謝環境組合議会」において、提出した2議案（令和4年度宮津与謝環境組合歳入歳出決算認定について、宮津与謝環境組合の定年等に関する条例の一部改正について）が認定および可決されましたのでお知らせします。

宮津与謝環境組合事務局 ☎46・2111



「ごみ処理」の内訳をチェック！

1万3,000トンのごみを処理



(単位: トン)

種類/市町	宮津市	伊根町	与謝野町	合計
燃やすごみ	4,748	436	4,446	9,630
燃やさないごみ	866	84	771	1,721
大型ごみ	107	64	113	284
資源ごみ	630	51	688	1,369
有害・危険ごみ	15	2	15	32
合計	6,366	637	6,033	13,036

※ 家庭系・事業系ごみの総量

POINT!! 燃やすごみの約半分は「紙類」

与謝野町内から出る燃やすごみの約半分は紙類で、「雑がみ」は資源化することができます。なお、「紙マーク」がついているものは、「資源ごみ（紫色の指定ごみ袋）」で出しましょう。



【雑がみは資源です】雑誌、カタログ、ノート、封筒、カレンダー、トイレトーパーの芯などは、紙袋に入れるまたは雑誌と一緒にひもで十字にくくって資源ごみに出すことで、燃やすごみの量を減らし資源化することができます。

POINT!! 生ごみの約8割は「水分」

新聞紙などで生ごみの水分を吸わせる前に、できるだけ生ごみをしばったり乾かしたりして、小さく軽くしてから出しましょう。

>>> コンポストや生ごみ処理容器を活用

コンポストや生ごみ処理容器の購入には、町の補助制度がありますので利用ください。

※ 補助額は令和5年度のもので

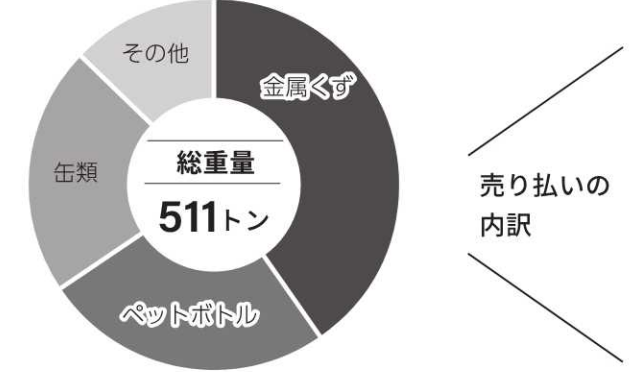
- コンポスト（堆肥化容器）
補助額上限：5,000円/基
- 電気式生ごみ処理容器
補助額上限：15,000円/基



「諸収入」の内訳をチェック！

4,683万円の売り払い

クリーンセンターでは、収集した燃やさないごみや資源ごみを選別・加工し、資源化物としてリサイクル業者に売却しています。



資源ごみの種別	重量 (単位: トン)	金額 (単位: 千円)	
金属くず	206	14,061	
ペットボトル	130	11,343	
缶類	110	19,978	
その他	新聞・雑誌	18	253
	段ボール	18	254
	発砲スチロール	14	785
	衣類	11	5
	紙パック	3	41
	小型家電	1	115
合計	511	46,835	

5,866万円の売電

クリーンセンターは、生ごみからメタンガスを回収する「メタンガス化施設」と、メタン発酵に適さないごみを焼却処理する「ごみ焼却施設」から構成するバイオマス利用施設で、廃棄物からメタンガスを回収して発電を行っています。



クリーンセンター内に設置してあるメタン発酵槽

- 発電量 136万7,000kWh（一般世帯の年間電力使用量で換算すると約340世帯分）
- 売電金額 5,866万4,000円